

2022年12月27日

シンクサイト株式会社
Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

シンクサイトとAxcelead DDP、 新しい表現型スクリーニング技術の開発に向けた共同研究契約を締結

シンクサイト株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：勝田 和一郎、以下「シンクサイト」）と Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：池浦 義典、以下「Axcelead DDP」）は、この度、新しい表現型スクリーニング技術¹⁾の開発に向けた共同研究契約を締結しましたのでお知らせします。

シンクサイトは、AIを活用したイメージ認識型の高速細胞判別・分取技術であるゴーストサイトメトリー²⁾を有しており、細胞を染色することなく個々の細胞のイメージングデータを用いて細胞を判別・分取することを可能とします。この技術を用いて表現型スクリーニングを実施することで、細胞の染色が必要となる従来の表現型スクリーニングでは染色によるバイアスがかかって見出せなかった、より生体での反応性を反映したヒット化合物の創出につながる事が期待されます。今回の共同研究では、Axcelead DDP が保有する 150 万以上の多様な化合物ライブラリと表現型スクリーニングの技術、そしてシンクサイトが持つゴーストサイトメトリーを使った先進的な評価技術によって、両社で新しい表現型スクリーニング技術を開発し、創薬スクリーニングプラットフォームの構築を目指します。

シンクサイトの代表取締役である勝田 和一郎は、「創薬スクリーニングのプラットフォーム事業分野をリードする Axcelead DDP との研究提携を大変嬉しく思います。化合物ライブラリーを含む Axcelead DDP の充実した創薬インフラと、当社独自の細胞ベース表現型スクリーニング技術を融合することによって、これまで見つからなかった創薬リードが期待できるようなソリューションを提供し、創薬技術の進化に貢献していきたいと考えています。」と述べています。

Axcelead DDP の代表取締役社長である池浦 義典は、「本共同研究を通じて新たな創薬スクリーニングのプラットフォームを構築することができれば、様々な細胞に対して従来の評価手法では得られなかった新規化合物を見出す可能性が高まります。私たち Axcelead DDP は、新しい創薬技術の開発に継続して取り組み、アンメットメディカルニーズを満たす画期的な医薬品の創出に貢献します。」と述べています。

¹⁾ 表現型スクリーニング：標的タンパク質を設定せずに、細胞の形態や機能上の変化を指標にして低分子、ペプチド、などの物質を探索する手法です。

²⁾ ゴーストサイトメトリー：細胞形態情報に基づく、AI 駆動型の高速細胞分析技術です。

以上

【シンクサイトについて】

シンクサイトは、東京大学及び大阪大学で生まれた先端技術を元に、ライフサイエンス及び医療の発展と革新を目指すスタートアップ企業です。先端イメージング、機械学習、マイクロ流体等の異分野技術を組み合わせて、次世代型のイメージ認識型高速セルソーティング技術を開発しています。この基盤技術を用いることで、新しい再生・細胞医薬や医療検査診断、創薬を実現させ、革新的な治療や診断に貢献することを目指しています。2019年6月には、経済産業省よりJ-Startupの1社に認定されています。

詳しくは、シンクサイトのウェブサイト(<https://thinkcyte.com/>)をご覧ください。

【Axcelead DDP について】

Axcelead DDP は、2017年7月に武田薬品工業株式会社の創薬プラットフォーム事業を継承して事業を開始した国内初の創薬ソリューションプロバイダーです。創薬に必要なほぼ全ての機能を有し、創薬ターゲットの探索から医薬品候補化合物の最適化、さらには臨床開発への橋渡しプロセスまでの非臨床創薬研究サービスをワンストップで提供しています。